NPO 法人みどりの杜福祉会　いわきワイナリー

IWAKIYUMEWINE の販路開拓・拡大【支援団体　ひまわり信用金庫】

事業課題

いわき唯一ワイナリーとして認知度アップ

平成 21 年設立の非営利団体、認定 NPO 法人として障がい者のための就労支援センターとして発足しました。

ハンディキャップを背負った方々が安心して自立した生活が出来る社会を目指し、いわき市でワイン用のブドウ栽培からワインの醸造・流通・販売までバリーチェーン化した取り組みを実施しています。

国内において、酒類消費量が減少していく一方、ワインの消費量は健康志向など食文化の変革により増加傾向にあります。

ワイナリー設立４年目であり、まだまだ認知度不足が否めません。

「IWAKIYUMEWINE」の知名度は徐々にではありますがひろがりつつありますが、市内のワイン愛飲家に浸透していないと感じます。まずは地元で愛されるワイナリーになり、市内の料飲店、小売酒販売の取扱店を増加させていくことが課題となっています。

課題解決方法

IWAKIYUMEWINE 路ブランドアイデンティティの確立

当法人のワイナリーとしてのワインの色が固まってきました。ブランドイメージを専門家と一緒に整理し、ブランドアイデンティティを確立させ、コードとスタイルを確立させ、ブランド戦略を練ります。

1、PR ツールの作成

ブランドを反映した視覚的にも心情にも訴えかける魅力ある PR ツールを作成します。外国人向けに英語表記のものも作成します。パンフレット、リーフレット、ポスター、パネル、卓上 POP、イメージユニフォーム等

2、いわきヌーヴォー祭り開催に合わせての PR 活動

11 月に完成される IWAKIYUMEWINE の新酒「いわきヌーヴォー」の発表の場である「いわきヌーヴォー祭り」にあわせて、販路拡大に PR 活動を行います。特に今回のイベントは、一般市民だけでなく、取引先となりうる飲食店、さらには外国人への働きかけを起こしながら、開催します。ワイン試飲だけでなく、ワインに合う地元の食材による料理も併せて提供し、いわき地ワインの味わいの深さを訴求していきます。

いわきでワインを作るという夢は、経済的な利益を追求するものだけではなく、働くことや「モノをつくる」という営みが、将来の希望を育み、実り豊かな形で生きていくのに不可欠なものであることを、ワインを通して伝えていきたいと思います。

〒970-1152 福島県いわき市好間町中好間字半貫沢 34-72
TEL 0246-36-0008
e-mail miraifarm@midorinomori-f.com
理事長　今野　隆

平成 21 年 8 月：特定非営利活動法人みどりの杜福祉会　設立
平成 22 年 4 月：就労継続支援Ｂ型事業所「就労支援センター未来工房」オープン
平成 30 年 7 月：農福商工連携・着地交流体験型施設として、いわきワイナリーガーデンテラス＆ショップオープン

補助事業の成果

地域での認知度アップと販路開拓

- パンフレット作成によりブランドイメージを統一することが出来ました。
- 継続的な販路開拓のためのツールとして、イベントに来場できなかった業務店等への配布や、新規商談や展示会で使用することにより、ブレの無いブランドイメージを伝え、ファインを増やしました。
- ブランドイメージを統一したユニフォームを作成することで、いわきヌーヴォー祭り内での使用や、ショップ、対外活動に使用することが出来ました。
- 店頭や卓上でつかえる POP 作成及び PR 活動を行い、さらなる PR 活動につなげていくことができました。

IWAKIYUMEWINE は、酔うための単なるお酒でなく、日常の生活を少し華やかに、心を豊かにする価値を提供する地域資源として、成長するためのステップとなりました。

今後の展望

IWAKIYUMEWINE の販路開拓・拡大

競合ワイナリーのない今、本物志向のいわき地ワインを人口30万以上の中核市である商圏としてのいわき市民への普及拡大はもとより、平成 31 年のラグビーワールドカップ、平成 32 年の東京オリンピック・パラリンピック、サモア独立国のホストタウン等各種イベント開催にあたっては、いわきの「観光資源としてシティセールスと併せて、PR 活動を展開していきます。

IWAKIYUMEWINE の認知度の向上、いわき市内の業務店の取り扱いの増加が必要であり、特に飲食店においては、ブランド力を下げないようにターゲットを絞って高価格帯の店舗取引を増やしていきたいと思います。

これらの施策により、業務の拡大を図り、障がい者の雇用拡大とともに、いわき市の観光拠点の一つとして、地域の復興・活性化への貢献にも寄与させたいと思います。

【本補助金採択を受けて】

いわき商工会議所・ひまわり信用金庫と当社との繋がりができました。
いわき商工会議所のハンズオン支援では、各種商談会への参加、市内飲食店へ“域内取引”アプローチができ、ひまわり信用金庫では、首都圏、仙台、全国の信用金庫旅行会等“域外取引”につながりました。

【経営理念】

『ゆったりとした時間の中で育まれるワインは障害者に向くはず…』
という思いの下、ハンディキャップを背負った方々が安心して自立した生ができる社会を目指します。
私たちのワインと皆様の一期一会を大切に……たとえば飲んでいただいた方全てが幸せになるような、そんなワインが実現できるよう、可能性と夢を追い続けてまいります。